



プレスリリース

2013年9月9日

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)

『第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013』 -ASP・SaaS/データセンター/ユーザ/PaaS・IaaS 各賞を発表-

特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(略称:ASPIC、東京都品川区西五反田、会長:河合輝欣)は、総務省などのご後援により、日本国内で提供されているASP^(注1)・SaaS^(注2)・クラウド^(注3)サービスとデータセンター及びそれらを利用するユーザ企業から優秀なものを選定し、『第7回ASP・SaaS・クラウドアワード2013』として、グランプリ及び各賞を決定し、発表・授与いたしました。

今回の応募状況は、70サービスのご応募があり、選定にあたっては、各分野の有識者から構成された委員会を組織して、選定・評価し決定いたしました。

このアワードにより、ASP・SaaS・クラウド関連業界の活性化、市場創造、情報基盤の確立、中小企業の生産性向上、さらには日本経済の発展に寄与するものと考えております。

そこでこの度、ご後援団体、中小企業関連団体、マスコミ、関連企業、選定委員等の皆様のご臨席を賜り、下記により表彰式を開催し、賞の発表及び授与を実施いたしました。

< 記 >

1. 表彰式の開催

日時：2013年9月9日(月) 15:00～17:30

場所：学術総合センター内 一橋講堂

2. 受賞企業一覧

受賞企業とサービス名

<ASP・SaaS部門/データセンター部門/ユーザ部門/PaaS・IaaS 部門> (資料1)

3. アワード2013の概要

(1)アワードの趣旨

(2)アワード受賞企業のメリット

(3)アワードの特徴

4. その他

(1)各賞の説明

(資料2)

(2)受賞サービス概要

<ASP・SaaS部門/データセンター部門/ユーザ部門/PaaS・IaaS 部門>

(資料3)

(3)委員会メンバー

(資料4)

(4)後援団体・企業等一覧

(資料5)

資料(参考) 特定非営利活動法人

ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム(略称:ASPIC)

(注1)ASPは、Application Service Provider(=アプリケーション・サービス提供事業者)の略。

(注2)SaaSは、Software as a Service(=サービスとしてのソフトウェア)の略ですが、

ASPICでは、ASPの利活用実態に鑑み、「特定及び不特定ユーザが必要とするシステム機能を、ネットワークを通じて提供するサービス、あるいはそうしたサービスを提供するビジネスモデル」と広く定義しており、「ASP」と「SaaS」は同義語とみなしています。

(注3)クラウドはASPICでは「ASP・SaaSの集合体」と定義しています。



資料1-1 【受賞企業とサービス名 <ASP・SaaS部門>】

認定欄「有」はASP・SaaSサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定済

各賞名		会社名	サービス名	認定
総合グランプリ		株式会社 NTT データ	「BeSTA」を利用した地銀・第二地銀向け ASP 共同利用型センター	
準グランプリ		株式会社富士通システムズ・ウエスト	DDworks21/ASP サービス	有
分野別 グラン プリ	社会・業界特化系 グランプリ	株式会社富士データシステム	高齢者介護施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」	
	基幹業務系 グランプリ	クオリカ株式会社	クラウドサービス型生産管理システム「AToMsQube」	
	支援業務系 グランプリ	ジャパンメディアシステム株式会社	Web 会議システム「LiveOn」	
ベストイノベーション賞		freee 株式会社	全自動のクラウド型会計ソフト「freee」(フリー)	
先進技術賞		株式会社 日立製作所	「C-Taxconductor/SaaS」	
		株式会社ショーケース・ティービー	ナビキャスト スマートフォン・コンバータ	
ベスト連携賞		株式会社スマイルワークス	ClearWorks	
		株式会社富士通マーケティング	GLOVIA smart きらら 人事給与	
海外展開賞		テクマトリックス株式会社	FastCloud	有
ベスト環境貢献賞		公益社団法人日本医師会 治験促進センター	治験業務支援システム カット・ドゥ・スクエア	
ニュービジネスモデル賞		株式会社オービックビジネスコンサルタント	奉行クラウドオプション	有
委員会特別賞		株式会社 CIJ ソリューションズ	SWING 勤怠管理 ASP サービス	
委員長特別賞		株式会社富士通システムズ・イースト	オープンデータを活用した観光クラウド	
ASPIC会長特別賞		株式会社ネットラーニング	「Multiverse®」	有
		株式会社パイプドビッツ	ネット de 会計®	有



資料1-2 【受賞企業とセンター名 <データセンター部門>】

各賞名	会社名	データセンター名
総合グランプリ	NTT コミュニケーションズ株式会社	東京第6データセンター
準グランプリ	株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	BroadCenter 岡山データセンター
ベスト環境貢献賞	日本ユニシス株式会社	日本ユニシス 小浜データセンター
ベスト連携賞	株式会社インテック	インテック富山 DC
ベスト地域貢献賞	株式会社 IDC フロンティア	白河データセンター

資料1-3 【受賞企業とサービス名 <ユーザ部門>】

各賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	ヒロウン株式会社	NEXLINK
ベストイノベーション賞	株式会社三洋堂ホールディングス	店舗 matic
ベスト環境貢献賞	株式会社 Loop	SalesForce/NetSuite/GoogleApps/ みえるーぷ
ニュービジネスモデル賞	クオリカ株式会社	Thin Office によるワークスタイル改革

資料1-4 【受賞企業とサービス名 <PaaS・IaaS 部門>】

各賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	株式会社 日立製作所	プラットフォームリソース提供サービス
準グランプリ	NEC ビッグロブ株式会社	BIGLOBE クラウドホスティング
PaaS 分野グランプリ	株式会社パイブドビッツ	スパイラル®
IaaS 分野グランプリ	株式会社インターネットイニシアティブ	IIJ GIO サービス
ベストイノベーション賞	新日鉄住金ソリューションズ株式会社	M³DaaS@absonne
先進技術賞	株式会社富士通マーケティング	AZCLOUD IaaS
ベスト連携賞	株式会社インテック	統合認証サービス 「EINS/IAM」
ベスト海外展開賞	GMO クラウド株式会社	GMO クラウド Public
委員長特別賞	株式会社 NTT データ	自治体共同利用型 IaaS クラウド
ASPIC 会長特別賞	SCSK 株式会社	「PrimeCloud for Developers」



3. アワード2013の概要

(1)アワードの趣旨

現在、総務省や経済産業省等においてもクラウドコンピューティングを中心としたICT戦略を推進しており、企業、公共団体、医療分野等に広く浸透し普及率も約20%近くに達しています。

また、ASP・SaaS・クラウド事業者の80%が他社と連携して事業を推進しています。

ASPICの推計によると、ASP・SaaS・クラウドの市場規模も、2015年には約3兆円に達すると見込まれ、今後ますますの進展が期待されています。

日本国内で優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・クラウドサービスを表彰し、事業者及びユーザの事業拡大及び業務効率化等を支援します。これによってASP・SaaS・クラウドサービスの利用促進と市場創造による社会情報基盤の確立を目的としています。

(2)アワード受賞企業のメリット

①新聞等での報道

新聞等の報道により企業名・サービス名などがとりあげられアワードを受賞した企業・サービスは新聞等の媒体にとりあげられます。

また、第一次審査を通過した企業・サービスをASPICホームページに紹介しました。

②ASPICセミナー等での発表

アワードを受賞したサービスは、ASPICの主催するセミナー等で発表の機会が得られます。

③受賞マークによる営業効果

受賞企業は、賞状と盾が授与され、オフィスなどで展示することにより、企業のイメージアップとともに、アワード受賞マークのHP・パンフレット等への使用により営業活動に貢献します。

④社内へのアピール効果

アワードの受賞によりプロジェクトの社内認知度が上がり、経営層へのアピール度が高まるとともに社員のモチベーションの向上に役立ちます。

(3)アワードにおけるサービスの動向

【ASP・SaaS部門】

①分野別

当初、支援業務系が多かったが、基幹業務系、社会・業界特化系が着実にサービス提供されてきた。

②企業規模

大手企業がサービス提供を積極的に展開し多くの実績がでてきている。横綱級のクラウドサービスが登場している。一方で中小企業についても独自の業務ノウハウ、コアコンピタンスを生かし製造業、エネルギー分野などへ市場参入を行い着実な成果をあげている。

③売上高

売上高伸び率は4年間平均で50%増と着実に増加している。

④連携

サービスの連携が促進し、殆ど(約8割)の企業で行われており、その内容も高度化・多様化している。

⑤海外展開

日本企業の海外進出に対応して、海外にある日本法人への展開しているサービスが増えてきたと同時に、海外企業との提携などを積極的に展開しているサービスが出現してきている。

⑥ユーザ企業のASP・SaaS・クラウド事業進出

自社の業務ノウハウを生かしたASP・SaaS・クラウドサービスをユーザ企業が自ら開発し市場へ展開する例が増えてきている。

⑦先進的なサービス

今迄になかった先進的なサービスに挑戦している企業がでてきている。

⑧ベンチャー企業の進出

特化した技術や新しいビジネスモデルを掲げてベンチャー企業が果敢にチャレンジを行い



成果が見えつつある。

【データセンター部門】

①安全・信頼性を考慮したデータセンター間連携

震災、BCP等の安全・信頼性を考慮したデータセンター間(自社及び他社)の連携が増えてきた。

②省エネ型データセンターへの新しい取組

環境に配慮した省エネ型のデータセンターへの新しい取組が行われている。

【ユーザ部門】

① ASP・SaaS・クラウドサービス利用による効果

経営革新・業務改革、コスト効果、ステークホルダーとの関係改善、BCP等ASP・SaaS・クラウドサービス利用による効果がより明確となった。

② ASP・SaaS・クラウドサービスの利用業種の拡大

特定の業種を問わず県、大学、独立行政法人や建設・不動産、製造業、理美容、サービス業、酒造、書店、スポーツ用品、環境など広範囲の業種においてASP・SaaS・クラウドサービスの利用が進展している。

③ ASP・SaaS・クラウドサービスの利用による業績改善

ASP・SaaS・クラウドサービスを利用することにより、顧客への案内や店舗の商品レイアウトの改善などにより大幅な業績改善の例がみられた。

【PaaS・IaaS部門】

① 前回(第6回)までは、PaaS分野はASP・SaaS部門、IaaS分野はデータセンター部門として募集していたが、クラウド基盤としてのハードリソース及びソフトリソースサービスの充実により今回(第7回)からPaaS・IaaS部門を新設してPaaS・IaaS部門として募集を行った。

② 応募にはデータセンター事業者が提供するクラウド基盤サービスが多くみられ、データセンター、IaaS、PaaSを一体のサービスとして提供している事業者が増加している。

4. その他

資料2-1 【各賞の説明 < ASP・SaaS部門 >】

賞名	賞の説明	
総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したサービス	
分野別	社会・業界特化系 グランプリ	社会・業界特化系分野において最も優れたサービス
	基幹業務系 グランプリ	基幹業務系分野において最も優れたサービス
	支援業務系 グランプリ	支援業務系分野において最も優れたサービス
ベストイノベーション賞	該当するサービスが社会や企業のイノベーションに貢献した実績のあるサービス	
先進技術賞	先進的且つ高度な技術を用いた優れたサービス	
ベスト連携賞	他のサービスとうまく連携を図ったサービス	
海外展開賞	ASP・SaaS サービスを海外へ展開し、成功を収めたサービス	
ベスト環境貢献賞	CO2 削減等環境に対して貢献したサービス	
ニュービジネスモデル賞	新しい領域や事業分野へチャレンジしたサービス	
委員会特別賞	委員会により推薦を受けたサービス	
委員長特別賞	委員長により推薦を受けたサービス	
ASPIC会長特別賞	ASPIC会長により推薦を受けたサービス	



資料2-2 【各賞の説明 <データセンター部門>】

各賞名	賞の説明
総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
ベスト環境貢献賞	CO2削減等環境に貢献しているデータセンター
ベスト連携賞	他のデータセンターとの連携がうまく図れたデータセンター
ベスト地域貢献賞	地域に対して貢献をしたデータセンター

資料2-3 【各賞の説明 <ユーザ部門>】

各賞名	賞の説明
総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得した企業
準グランプリ	全評価項目で評価の高い企業
ベストイノベーション賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、経営改革や経営の効率化に貢献した企業
ベスト環境貢献賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、CO2削減等環境に対して貢献をした企業
ニュービジネスモデル賞	ASP・SaaSクラウドを活用し新たなビジネスモデルを構築した企業や新たな事業領域へチャレンジした企業

資料2-4 【各賞の説明 <<PaaS・IaaS部門>>】

No	会社名	賞の説明
1	総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得した企業
2	準グランプリ	全評価項目で評価の高い企業
3	PaaS 部門グランプリ	PaaS 分野において最も優れたサービス
4	IaaS 部門グランプリ	IaaS 分野において最も優れたサービス
5	ベストイノベーション賞	該当するサービスが社会や企業のイノベーションに貢献した実績のあるサービス
6	先進技術賞	先進的且つ高度な技術を用いた優れたサービス
7	ベスト連携賞	他のサービスとうまく連携を図ったサービス
8	ベスト海外展開賞	サービスを海外へ展開し、成功を収めたサービス
9	委員長特別賞	委員長により推薦を受けたサービス
10	ASPIC 会長特別賞	ASPIC会長により推薦を受けたサービス



資料3-1 【受賞サービスの概要＜ASP・SaaS部門＞】

No	会社名	サービス名	サービス概要
1	〈総合グランプリ〉 株式会社 NTT データ	「BeSTA」を利用した地銀・第二地銀向け ASP 共同利用型センター	地方銀行および第二地方銀行向けの銀行基幹系業務サービスを提供します。
2	〈準グランプリ〉 株式会社富士通システムズ・ウエスト	DDworks21/ASP サービス	製薬会社の新薬開発業務をサポートするSaaSサービスです。臨床研究開発分野のトータルソリューションを目指して挑戦し続けています。
3	〈社会業界特化系グランプリ〉 株式会社富士データシステム	高齢者介護施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」	介護現場の手書き記録業務を効率化し、介護スタッフが高齢者に関わる「ゆとり」と「ふれあい」時間を生み出します
4	〈基幹業務系グランプリ〉 クオリカ株式会社	クラウドサービス型生産管理システム「AToMsQube」	国内・中国・ASEAN を中心に63社67拠点の採用実績。国内のみならずグローバル展開を進める製造業を支援します。
5	〈支援業務系グランプリ〉 ジャパンメディアシステム株式会社	Web 会議システム「LiveOn」	LiveOn は 4,000 社以上の導入実績がある完全自社開発の Web 会議システムです。経費削減・業務効率化のほか、BCP 対策としても活用可能です。
6	〈ベストイノベーション賞〉 freee 株式会社	全自動のクラウド型会計ソフト「freee」(フリー)	簿記の知識がなくても簡単につかえる個人事業主や中小企業のためのクラウド型の会計ソフトで、銀行やクレジットカードの入出金明細を自動で取り込み、記帳を自動化する新しいタイプの会計ソフトです。 http://www.freee.co.jp/
7	〈先進技術賞〉 株式会社 日立製作所	「C-Taxconductor/SaaS」	グループ企業内で利用する連結納税業務のシステム環境をクラウドで提供。毎年の税制改正に対応し、業務の効率化を支援します。
8	〈先進技術賞〉 株式会社ショーケース・ティービー	ナビキャスト スマートフォン・コンバータ	急増するスマホ利用者に対応するため、既存の PC サイトを自動でリアルタイムにスマホで見やすいレイアウトに変換するサービスです。
9	〈ベスト連携賞〉 株式会社スマイルワークス	ClearWorks	財務会計・給与計算・販売仕入在庫管理・経費精算・勤怠管理等を統合し、全て自動会計連動するクラウド型統合業務ソリューションです。
10	〈ベスト連携賞〉 株式会社富士通マーケティング	GLOVIA smart きらら 人事給与	(1)短期で利用開始(2)サーバ・メンテナンス不要でコストを圧縮(3)給与計算と人事管理が同一サービスで利用できる使い勝手の良さが特徴です。
11	〈海外展開賞〉 テクマトリックス株式会社	FastCloud	コンタクトセンター向け CRM アプリケーション及びナレッジマネジメントアプリケーションサービスです。
12	〈ベスト環境貢献賞〉 公益社団法人日本医師会 治験促進センター	治験業務支援システム カット・ドゥ・スクエア	治験業務全般を支援し、厚生労働省の定める統一書式に基づく文書作成、情報の共有、電子的な資料配布が行える無料のシステムです。
13	〈ニュービジネスモデル賞〉 株式会社オービックビジネスコンサルタント	奉行クラウドオプション	仕訳伝票入力や給与明細書参照、勤怠管理業務をクラウド型で提供するサービスです。複数拠点間や複数担当者間での業務をより効率化できます。
14	〈委員会特別賞〉 株式会社 CIJ ソリューションズ	SWING 勤怠管理 ASP サービス	社会福祉法人の複雑な勤怠管理だけではなく、様々な資格・職種の人員配置の把握など、きめ細やかな管理を実現したサービスです。
15	〈委員長特別賞〉 株式会社富士通システムズ・イースト	オープンデータを活用した観光クラウド	オープンデータ活用や住民参加による情報発信等、地域の埋もれた魅力を浮上させる地域協働型の観光クラウドモデルです。
16	〈ASPIC 会長特別賞〉 株式会社ネットラーニング	「Multiverse®」	教育専用開発された多機能・統合型プラットフォームです。e ラーニング受講・管理だけでなく、SNS、ライブレッスン、コース作製など多機能を1つに統合。マルチデバイスにも対応します。



17	〈ASPIC 会長特別賞〉 株式会社パイブドビッツ	ネット de 会計®	決算書まで自動作成できる中小規模事業所向けクラウド会計ソフトです。 初心者からプロユースまで広く利用可能で、Win、Mac、iOS にも対応します。
----	------------------------------	------------	---

資料 3-2 【受賞サービスの概要 <データセンター部門>】

	会社名	サービス名	サービス概要
1	〈総合グランプリ〉 NTT コミュニケーションズ株式会社	東京第6データセンター	次世代データセンターサービス「Nexcenter」の第一弾として誕生した都内最大級の違いが実感できるデータセンターです。
2	〈準グランプリ〉 株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	BroadCenter 岡山データセンター	自然災害が少ない岡山に建設した高規格 iDC をベースに、豊富な通信・情報技術と経験を活かしたデータセンターサービスです。
3	〈ベスト環境貢献賞〉 日本ユニシス株式会社	日本ユニシス 小浜データセンター	BCPやクラウドサービス拠点として、自然環境に配慮し、最新技術を駆使し構築した省電力型・郊外型次世代データセンターです。
4	〈ベスト連携賞〉 株式会社インテック	インテック富山 DC	災害の少ない富山の高性能DCで、首都圏・関西圏の自社高性能DCと接続し、国内初の広域仮想クラウドサービスを提供しています。
5	〈ベスト地域貢献賞〉 株式会社 IDC フロンティア	白河データセンター	最先端の外気空調を採用し、広大な敷地による高い拡張性と都市型と同等のネットワークレスポンスを実現したデータセンターです。

資料 3-3 【受賞サービスの概要 <ユーザ部門>】

No	会社名	サービス名	サービス概要
1	〈総合グランプリ〉 ヒロウン株式会社	NEXLINK	リアルタイムで商品情報を届けることができる販売店支援サイトと配信システムです。全国の販売店を均一にフォローすることが可能です。
2	〈ベストイノベーション賞〉 株式会社三洋堂ホールディングス	店舗 matic	「店舗 matic」を活用して本部から店舗への指示の徹底を図り、売上アップを実現しました。
3	〈ベスト環境貢献賞〉 株式会社 Looop	SalesForce/NetSuite/GoogleApps/ みえる一歩	複数のクラウドを社内システムとして短期導入し、自社でも太陽光発電監視システムを開発しました。
4	〈ニュービジネスモデル賞〉 クオリカ株式会社	Thin Office によるワークスタイル改革	東日本大震災と本社移転を機に、PCの仮想デスクトップ化、SSL-VPN によるテレワーク、BYOD 等、最新技術を駆使し、生産性の高いワークスタイルを実現しました。

資料 3-4 【受賞サービスの概要 <PaaS・IaaS 部門>】

No	会社名	サービス名	サービス概要
1	〈総合グランプリ〉 株式会社 日立製作所	プラットフォームリソース提供サービス	高信頼・高セキュリティで、柔軟性の高い IT リソースを提供。新規ビジネスの基盤から基幹業務、BCP 対策まで、幅広い用途に対応します。
2	〈準グランプリ〉 NEC ビッグロープ株式会社	BIGLOBE クラウドホスティング	企業の業務で本格的に利用いただける安定性の高い IaaS サービスです。充実のセキュリティ機能、自社ネットワークとシームレスに接続可能です。
3	〈PaaS 部門グランプリ〉 株式会社パイブドビッツ	スパイラル®	販売促進や CRM の顧客情報や給与明細等の従業員情報など多彩な情報資産を安全な環境で預かり、有効活用していただく情報資産プラットフォームです。



4	〈IaaS 部門グランプリ〉 株式会社インターネットイニシアティブ	IIJ GIO サービス	国内最大級のインターネットバックボーン上に、高品質かつ大容量のリソースプールを備えたクラウドプラットフォームです。
5	〈ベストイノベーション賞〉 新日鉄住金ソリューションズ株式会社	M ³ DaaS@absonne	在宅勤務やスマートデバイスの活用を実現し、企業のワークスタイル変革を IT インフラから支えるクラウド型の仮想デスクトップサービスです。
6	〈先進技術賞〉 株式会社富士通マーケティング	AZCLOUD IaaS	「安心・安全・簡単」に使える法人向けIaaSです。ネットワークから構築支援・運用サポートまで「オールインワン」で提供します。
7	〈ベスト連携賞〉 株式会社インテック	統合認証サービス 「EINS/IAM」	EINS/IAM は、証明書認証・ID 統合管理・SSO 機能を提供し、安全な SaaS 利用を実現する統合認証プラットフォームサービスです。
8	〈ベスト海外展開賞〉 GMO クラウド株式会社	GMO クラウド Public	国内最安値水準でフル 10Gネットワーク対応、必要なリソースを無駄なく使える国内初のリソース型パブリッククラウドです。
9	〈委員長特別賞〉 株式会社 NTT データ	自治体共同利用型 IaaS クラウド	自治体様専用のIaaSとして、システム導入において必要となる「マルチベンダ対応実績のあるクラウドリソース・共通基盤」を提供します。
10	〈ASPIC 会長特別賞〉 SCSK 株式会社	「PrimeCloud for Developers」	オンデマンドで調達できるサーバ環境から、開発プロジェクト運営に必要な機能を備えた管理環境まで、クラウドのメリットを最大限に活かしたサービスをワンストップで提供します。SCSKがこれまで培ってきたクラウド基盤技術やプロジェクト管理ノウハウを結集しており、様々な業界・形態のシステム開発業務に対してスピーディに適用できます。

資料4 【委員会メンバー】

【ASP・SaaS部門 / ユーザ部門/PaaS・IaaS 部門 PaaS 分野選定委員】 (五十音順)

	氏名	企業名・部署名	所属役職
委員長	中島 洋	国際大学	教授
副委員長	島田 達巳	東京都立科学技術大学	名誉教授
委員	浅見 訓男	一般財団法人マルチメディア振興センター	専務理事
	飯田 幸弥	東京商工会議所	総務統括部付
	太田 敏澄	国立大学法人電気通信大学 大学院 情報システム学研究科	前教授
	木村 忠正	東京大学 大学院 総合文化研究科	教授
	杉田 悟	情報産業新聞社	副編集長
	高橋 郁夫	BLT 法律事務所 所長	弁護士
	藤本 正代	情報セキュリティ大学院大学	客員教授
	前川 徹	サイバー大学 IT総合学部	教授
	河合 輝欣	特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	会長



データセンター部門 /PaaS・IaaS 部門 IaaS 分野選定委員】

(五十音順)

	氏名	企業名・部署名	所属役職
委員長	阪田 史郎	千葉大学 大学院 融合科学研究科	教授
委員	秋山 光輝	三菱商事(株)IT サービス事業本部コンサルティング事業部事業部	戦略チームリーダー
	岩井 靖	アイビーシー(株)	常務取締役 マーケティング本部長
	岩本 幸男	1st ホールディングス(株) 社長室	室長
	後藤 厚宏	情報セキュリティ大学院大学	教授
	渋谷 實	(株)ユーエスエス	専務取締役
	大和 敏彦	(株)アイティアイ	代表取締役
	河合 輝欣	特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	会長

資料5 【後援団体・企業等一覧】

- ・総務省
- ・一般財団法人 マルチメディア振興センター
- ・一般財団法人 インターネット協会
- ・一般財団法人 地方自治情報センター
- ・一般財団法人 全国地域情報化推進協会
- ・公益財団法人 日本下水道新技術機構
- ・公益財団法人 九州ヒューマンメディア創造センター
- ・一般財団法人 日本システム開発研究所
- ・東京商工会議所
- ・一般社団法人 千葉県商工会議所連合会
- ・一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 千葉県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- ・一般社団法人 日本社会情報学会
- ・全国ソフトウェア協同組合連合会
- ・一般社団法人日本ソフトウェア産業協会
- ・日経コンピュータ/ITpro
- ・情報産業新聞社
- ・日刊工業新聞社
- ・株式会社BCN
- ・ITmedia エンタープライズ
- ・一般社団法人 熊本県情報サービス産業協会



ASPIC のご紹介

■ 活動の目的

ASPIC は 1999 年設立以来、ASP・SaaS・クラウドの唯一の業界団体として、中央省庁、地方公共団体、並びにユーザ、事業者への情報発信及び提言を行うと共に、ASP・SaaS・クラウドの利用促進と市場創造活動を推進することを目的としております。

■ 主な沿革

- 1999.11 任意団体 ASP インダストリ・コンソーシウム・ジャパン(ASPIC)設立
- 2002.2 NPO 法人の認証取得
- 2002.4 行政機関から受託事業を開始
- 2006.11 日韓共同 ASP ワークショップをソウルにて開催
- 2007.2 国内初の「ASP・SaaS IT アウトソーシングアワード 2006」を開催
- 2007.4 総務省と合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」を設置
- 2008.5 「ASP・SaaS イノベーション・シンポジウム(ASIS)2008」開催
- 2008.6 「電波の日・情報通信月間」にて ASPIC が『総務大臣表彰』を受賞
- 2008.4 FMMC の「ASP・SaaS 情報開示認定制度」を運用開始
- 2009.2 「ASP・SaaS データセンター促進協議会」の設置
- 2010.6 米国「CSA日本支部」設立・事務局発足
- 2010.12 「ジャパン・クラウド・コンソーシウム」設立参加
- 2011.9 ASP・SaaS・クラウド コンソーシウムへ名称変更
- 2012.4 国際標準介護アセスメント・インターライ方式クラウドサービス提供開始
- 2012.6 「電波の日・情報通信月間」にて会長が『総務大臣表彰』を受賞
- 2013.1 ミッション・ビジョン策定
- 2013.6 情報開示認定サービス(累積)「180」達成
- 2013.6 ASP・SaaS・クラウド関連ガイドライン・指針策定累計数「20」達成(作成協力)
- 2013.6 総務省「ICT 街づくり推進会議報告書」の中で「ASPIC と連携して進めることが重要」と明記

ASPIC の重点活動『5本柱』

1999 年設立以来、13 周年となる NPO 法人 ASPIC では、以下の 5 本柱の一層の推進・展開を図り

「普及促進からビジネス実践」へと新たな飛躍・発展を目指し、各種施策の推進を引き続き実行してまいります。



特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシウム (ASPIC)

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル 2F

TEL:03-6662-6591 ・ FAX:03-6662-6347

E-mail:office@aspicjapan.org ・ URL:<http://www.aspicjapan.org>

以上